

第3学年 社会科学習指導案

1 単元名 はたらく人とわたしたちの暮らし-店ではたらく人-（東京書籍3・4年上）

2 単元について

○ 本単元は、学習指導要領の内容（2）地域の人々の生産や販売について、「ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」、「イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」を見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにすることを受けて設定したものである。特に、本小単元では、販売に関する仕事としてスーパーマーケットで働く人を取り上げる。スーパーマーケットは、消費者と販売者という立場が明確であり、消費者との関係を捉え、販売に関する仕事の工夫や努力を調べさせることに適した教材であると考ええる。スーパーマーケットの仕事を調べることを通して、販売者の工夫や努力が、消費者の願いと結び付いており、自分たちの生活を支えていること、消費生活を通して自分たちが国内の他地域や外国と関わっていることを考えさせることをねらう。

○ 本学級の児童は、意識調査において、ほとんどの児童が「社会科学習が好き、どちらかといえば好き」と答えている。その理由として、「見学に行ける」「地図記号などからその土地の特徴を読み取ったり覚えたりするのが楽しい」などを挙げており、自分の住む地域についての知識を得ることに関心が高く、資料から分かることを調べることに意欲的に取り組んでいることがうかがえる。一方で「好きではない、あまり好きではない」と答えた理由には、「地図などの資料を見て考えることが難しいこと」を挙げている。また、教師の見取りでは、生活経験や既習の知識を基に自分の考えをもち、表現することに課題が見られる児童がいる。学習内容に関する実態調査においては、どこでよく買い物をしているかという問いに対して、約半数の児童がスーパーマーケットを挙げ、約2割の児童が身近にある商店や最近校区内にできた専門店を挙げている。

平成26年12月の佐賀県学習状況調査の結果を踏まえ、思考・判断・表現の観点について課題が見られたことから、4年生の調査問題において児童が既習している3年生の内容の設問を基に、本学級において事前に実態調査（平成27年6月実施）を行った。この調査結果について解答内容を分析し、誤答傾向等を考察したところ、本学級の児童は、正答の条件となる2つの情報を基に理由を記述することに課題があることが分かった。つまり、複数の情報を関連付けて考え、表現することが課題であると考ええる。これらのことから、授業改善の視点を複数の情報を関連付けて考えさせ、考えたことを適切に表現させることとし、分かったことを関連付けて考えさせたり判断させたりし、関連がわかるキーワードを用いた説明や表現をさせるなどの手立てを取り入れることにした。

○ 指導に当たっては、問題把握の過程において、まず、家庭での買い物調べや家族への聞き取り調査をさせることで、消費活動への関心をもたせる。次に、調査結果から、多くの家庭がスーパーマーケットを利用していることに気付かせ、学習問題Ⅰ「なぜたくさんの方がスーパーマーケットに行くのでしょうか。どんな工夫があるのでしょうか。」を設定する。調べる過程においては、学習問題についての予想から「安さ」「品揃え」「新鮮さ」「便利さ」「店の外」を調べる視点としてもち、視点を基にした見学や聞き取り調査をさせる。その後、調べる視点を基に分かったことをまとめ、お世話になった店長さんからのコメントを頂く。その際、調べたスーパーマーケットが抱える課題を店長さんに提示してもらうことで学習問題Ⅱ「もっとお客さんが来るために、優先させる方法を考えよう」を設定する。調べる段階で分かった販売の工夫を基に、販売者、消費者の立場の工

夫や思いから「安さ」と「新鮮さ」に着目させる。その上で、考え・まとめる過程において地域の消費者に喜ばれるために、どんなスーパーマーケットになればいいかを多面的、総合的に考え、意思決定させる。その後、学級内での意見の違いから、意見討論会を行うことで、学習問題Ⅱに対する自分の考えを深めさせる。その際、消費者の代表として保護者も交えた討論会をすることで、多様な意見の交流をねらう。最後に、自分の考えを提案文にまとめ見学したスーパーマーケットの店長さんに提案する。このような単元を仕組むことで、学習を通して得た知識や条件を考慮してより良い方法を考え、それを表現する力を高めさせたり、自分の考えや他の社会的問題の解決策についての考えを深め、実社会への問題意識をもたせたりしたい。

3 単元の目標

地域の販売の仕事について、スーパーマーケットで働く人々の様子を見学したり、聞き取り調査をしたりして調べ、地域の販売に関する仕事が自分たちの生活を支えていることや販売されている商品を通して他地域と関わっていることが分かり、販売の仕事をする人が消費者の願いに応じた工夫や努力をしていることを考えるようにする。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の仕事の様子に関心を持ち、それを意欲的に調べ、地域の生産や販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 ・地域の販売の仕事と自分たちの生活との関わりから、今よりもっと販売の促進につながる提案について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の販売の様子について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ・地域の人々の販売の工夫や努力を、消費者の願いや目的、自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観点に基づいて見学したり資料を活用したりして、地域の人々の販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 ・働く人の様子や販売の工夫について調べたことを見学メモやワークシートなどにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 ・地域の人々の販売に見られる仕事の特色や国内の他地域との関わりを理解している。

5 単元計画（全14時間 本時10/14）

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	評価(・)評価の観点【】	時配
学習問題をつかむ	○家庭での「買い物調べ」の結果から、疑問に思ったことやもっと調べたいことを出し合い、学習問題Ⅰを考える。	○「買い物調べ」の結果を出し合わせることで、スーパーマーケットを多く利用していることに着目させ、その理由についての疑問を基に、学習問題Ⅰへと導く。	・地域の人々の販売の様子について、学習問題を考え表現している。 【思】	1
	なぜスーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのでしょうか。 (学習問題Ⅰ)			

調べる	○家庭での聞き取り調査や自分の経験、スーパーマーケットの挿絵を基に、学習問題についての予想を立てる。	○買い物の経験が少ない児童には、教科書の挿絵を参考に探すよう助言する。	・自分の経験やスーパーマーケットの挿絵を基に、販売の仕事の様子について必要な情報を集め、読み取っている。 【技】	1
	○学習問題 I についての予想を基に、調べる視点をつくり、学習計画を立てる。 ・調べる視点 「安さ」「品揃え」「新鮮さ」「便利さ」「店の外」など	○学習問題 I について予想を出させ、その意味を問いかけることで、調べる視点づくりにつなげ、学習計画を考えさせる。	・学習問題 I についての予想を基に調べる視点を考え、学習計画を立てている。 【思】	1
	○調べる視点を基に、スーパーマーケットの工夫について調べる。 《調べる視点》	○見付けさせたい工夫を意識させるようにする。 《見付けさせたい工夫》	・調べる視点を基に、工夫となる情報を意欲的に調べ、地域の生産や販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。 【関】	見学 2 + 1
	「安さ」 シール、ねふだ、特売（セール）など 「品揃え」 品数、商品の並べ方、商品の種類など 「新鮮さ」 地産地消、バックヤード（調理）など 「便利さ」 包装、食べ方の紹介、無料サービス 「店の外」 広い駐車場、看板（旗）など 「その他」 お店の人の願い、飾り付けなど	<売り場の工夫> 看板、シール、商品の並べ方 <客の願いを考えた工夫> <u>駐車場の広さ</u> 、 <u>安さ（セール・特売）</u> 、新鮮さを保つ、個別包装、品揃え、見やすい表示 <客の願いと店の工夫> 魚の調理・無料で切ってくれる。 <u>地産地消</u> ・地元の新鮮な野菜が買える。 <u>広い駐車場</u> ・遠くから来る車を利用しやすいように 日用品・食料品以外にも生活に必要な物をそろえている。など	・スーパーマーケットで働く人にインタビューしたり、働く様子を観察したりして調べたことを見学メモにまとめている。 【技】	
	○スーパーマーケットを見学して見付けたり、確認したりした工夫についてまとめる。	○見付けた工夫について、その目的を問いかけることで、お店の仕事だけではなく、お客さんの立場も意識させる。	・地域には販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。 【知】	
	○スーパーマーケットの品物の産地を調べ、他地域とのつながりを考え、話し合う。 ・店で売られている商品には、他の市や県、外国などの他地域で作られたものもある。 ・他地域からきた商品が私たちの日々の生活を支えている。	○看板、シール、折り込みチラシを活用して品物の産地を調べさせる。 ○調べた結果を出し合わせ白地図にまとめることで、他地域とのつながりがあることや販売者の工夫に気付かせる。	・品物の産地や旬について、折り込みチラシ等から読み取っている。 【技】 ・スーパーマーケットでは、品物を国内外の産地から仕入れたり、仕入れる時期を考えたりしていることを理解している。 【知】	1
	○スーパーマーケットは品物を売る以外にどのような取組をしているかを調べる。	○ホームページの情報から、販売者の工夫を調べさせることで、環境への取組や地域貢献などの取組に気付かせる。	・環境への取組や地域貢献などの取組に関する情報についてインターネットを使って集め、読み取っている。 【技】	1

調 べ る	○見学で調べたスーパーマーケットの販売の工夫について、調べる視点を基にまとめる。	○調べて分かったことを振り返りながら、調べる視点を基にまとめることで、売り手と買い手の関連を考えさせる。	・これまでの学習を振り返りながら、スーパーマーケットで働く売り手の工夫と買い手の願いとの関連や自分たちの生活との関連について考え、表現している。 【思】	1
	○スーパーマーケットの店長さんに、見学で見つけた販売などの工夫を発表して、学習問題の答えを確かめる。 ○店長さんのコメントを基に新たな問題を受けて、学習問題Ⅱを考える。	○調べて分かったことやまとめた売り手の工夫について店長さんに確認し、学習問題Ⅰの追究について充実感をもたせる。 ○店長さんのコメントに含まれた新たな問題について、問いかけることで学習問題Ⅱを導き出す。	・調べて分かった販売の工夫についてまとめたことを基に、新たなスーパーマーケットの課題について、解決に向けた自分の考えとその理由を表現している。 【思】	1 本時 (10/14)
	「調べたスーパーマーケット」にもっとお客さんが来るために、「安さ」と「新鮮さ」のどちらを大切にしていればいいのかを考えよう。（学習問題Ⅱ）			
	○お客さんを増やすために優先させる方法とその理由を考える。	○販売者、消費者両方の視点から考えるように助言し、自分の考えを決めさせる。		
考 え ・ ま と め る	○自分の考えを確かにするために、これまでの学習を振り返ったり、新たに調べたりする。	○買い物調べや見学、保護者へのアンケート結果で知った店選びの理由を基に自分の考えの根拠を明らかにさせる。	・地域の人々の販売の工夫や努力を、消費者の願いや目的、自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。 【思】	2 + 課 外
	○学習問題Ⅱについての自分の考えを基に、消費者である保護者の前で意見討論会をする。	○保護者を交えて意見討論会をすることで、自分の考えのよさや問題点に気付かせ、自分の考えを修正したり深めたりさせる。	・地域の販売の仕事と自分たちの生活との関わりから、今よりもっと販売の促進につながる提案について考えようとしている。 【関】 ・自分の考えの根拠について、自他の考えと比較しながら再考し、表現している。 【思】	1
	○意見討論会を受けて、学習問題Ⅱについて、店長さんへの提案文を書く。	○より良い提案をするために、前時の意見討論会の様子を振り返る。 ○「安心・安全」なスーパーマーケットにしてもっとお客さんに喜んでほしいという店長さんの思いを確認し、目的意識をもたせ、提案文を書かせる。	・「調べたスーパーマーケット」のこれからの販売の仕方について、自分の考えを提案文として根拠を明らかにして表現している。 【思】	1

6 本時の目標

調べて分かった販売の工夫についてまとめ、スーパーマーケットの課題について、解決に向けた自分の考えとその理由を表現することができるようにする。（社会的な思考・判断・表現）

7 展開(全14時間 本時10/14)

学 習 活 動	教師の働き掛け(○)と評価【】
1 これまでの学習の全体を振り返り、本時のめあてをもつ。 (学級全体)	○学習問題Ⅰを確認し本時でその答えを出すという目的を明確にするために、これまでの学習について教室掲示を利用して振り返る。
めあて まとめたことから学習問題の答えを考えよう。	
2 前時の学習でまとめた「調べたスーパーマーケット」の販売の工夫について、店長さんからのコメントのビデオを見て確認する。 (学級全体)	○自分たちがまとめたことを確認するために店長さんからのビデオを見せることで、そのコメントから、追究活動について充実感をもたせる。 ○学習問題Ⅰの答えに導くために、売る人、買う人の言葉の確認や売る人の工夫は必ず買う人の思いや願いにつながっていたことを確認する。
3 学習問題Ⅰについてまとめる。 (学級全体)	○学習のまとめとして、調べる視点をキーワードに学習問題Ⅰの答えを書かせる。 <例>スーパーマーケットでは、お客のねがいにこたえるためにやすい(ねだんが安い)・品ぞろえ・しんせん・べんり・店の外の工夫をしている。
4 店長さんの感想やこれからの店作りへの思いについてのビデオを見る。 (学級全体)	○前時の児童のまとめに対する感想に加え、日頃消費者のために大切にしていることや販売への姿勢などを踏まえたコメントを聞かせる。
社会的な問題《答えさせるための問い》 お客さんに安心・安全に買い物をしてほしい。そして、たくさんの人にスーパーマーケットに来てほしい。	○話の中から解決すべき新しい問題に気付かせるために、社会的な問題に焦点を当ててコメントを振り返る。
	○社会的な問題により切実感をもたせるために、事前の買い物調べでの調査結果を提示する。 <予想される児童が考える方法> ①もっとやすく(安く) ②もっとしんせんに(新せんに)
5 「調べたスーパーマーケット」のお客さんを増やすための社会的な問題について考える。 (個人)	○現時点での自分が優先させるべきと思う解決方法を選び、その理由を書く。【評価】 <考えを書くポイント> ①自分の考え ②もっと調べないといけないこと
6 問題点に気付き学習問題Ⅱをつくる。 (個人・学級全体)	○今のスーパーマーケットにとって、①と②のどちらを優先的に取り組んでいくか考えさせる。
学習問題Ⅱ 「調べたスーパーマーケット」にもっとお客さんが来るために、「安さ」と「新鮮さ」のどちらを大切にしておきたいかを考えよう。	
7 本時の振り返りをする。 (学級全体)	○学習問題Ⅱを確認し、この問題の考えを次時から深めていくことを確認する。

8 本時の評価

評価規準	調べて分かった販売の工夫についてまとめ、新たなスーパーマーケットの課題について、解決に向けた自分の考えとその理由を表現している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	自分が優先させるべきと思う解決方法を決め、その理由を両方のよさや問題点に触れながら書いている。	自分が優先させるべきと思う解決方法を決め、その理由を自分の選んだ解決方法のよさに触れながら書いている。	(B)に達していない記述
→(B), (C)と判断した児童への支援		→自分の理由付けが、なぜよさなのかを問いかけ、両方を比較するように促す。	→板書を手掛かりに、自分の考えを決めさせ、決め手となった言葉を基に理由を考えさせる。
評価方法	ワークシートの記述		

9 本時の板書計画

